

田原凧だより

第79号

2006.1.1

謹
賀
新
年



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知万博、たはら環境未来博（全国風サミット）など、田原凧保存会にとって意義ある催しの多い年であり、地域の皆さんとまた行政の方と共に、伝統文化の田原凧を中心に活動した充実した年でもありました。昨年末、このような地域との交流が認められ、愛知県知事より「愛知県地域づくり活動表彰」を授与しました。

ことは、昨年のような大きなイベントはありませんが、渥美半島がひとつとなり新田原市が誕生したのを契機に、むかし渥美半島は、凧列島といわれるほど盛んだった凧文化を、さらに発展させるべく地域づくりに取り組んでいきたいと思っていますので、会員の皆さんご協力をよろしくお願いいたします。

田原凧保存会 会長 松井克雄

お正月の凧だよりの表紙を飾った干支凧は、

「青：80」鳥井賢次さんが、年賀状が皆さんのところに無事届きますように、一年が平穏無事でありますようにとの願いを込めて制作し、お客様に配っている祝凧です。

【事務局】田原まつり会館・熊金の館

田原市田原町稗田17

tel・fax 0531-23-0550

e-mail taharatako@aw.wakwak.com

発行責任者 太田 健

後継者育成 田原けんか凧づくり教室開催



平成17年11月13日(日)田原文化会館アトリエにおいて田原凧の後継者を育成するため「田原けんか凧づくり教室」が開催されました。

参加したのは、各チームの籠持ちをつとめる若手ならびに豊田市湖西市・大府市と遠方の凧友も含め16名が参加し、伝統ある田原凧づくりに挑戦していました。

一方講師は、田原凧保存会の中でも凧作りの名人と言われる方々が当たり、田原凧制作の技術を習得目指す生徒たちは、熱心に講師の説明を聞き入っていました。

新たな田原凧づくり名人の卵たちが誕生しました。



凧づくりでは、道具の手入れの仕方も大事なことです。

刃物の研ぎ方についても名人から技術の伝授を受けました。

【完成した凧と記念写真】



講師の方々

藤城三信
林 宏
佐々木邦夫
萩原昭信
杉本明一
原田 力
藤城末次
鈴木健司
竹内裕美
岡田伍生
岡田律雄
鈴木 裕

田原凧 - 奥深いその魅力 -

新潟鳥凧の会
会長 荒井 勝美



日本自然百景の一つで、広大な新潟市、水の駅「ビュー福島潟」。天然物「オオヒシクイ」の飛来地で、環境保護区域として有名な観光地。その大空に「田原凧」が初めて二つ舞いあがった。

(H17.9.23)

「潟」の一角に、観光客の休憩所である茅葺屋根の「潟来亭(かたらいてい)」の上に、ひらひら見え隠れして舞う田原凧。遠くから見ていると、さながら巨大な蝶の舞う姿と錯覚する。優雅である。散策していた観客が寄ってくる。

「あれって、凧なんですか。日本にああいう凧があるんですね。」

「人間の糸の操り方ひとつで思うように舞うですね。」

観客の心をぐっと一気に捉える。揚げ手は、関ノ宮吉衛、井上義男の両氏。田原凧にぞっこんほれた男の手綱さばきだ。「ハイッ、ゴアイサーツ。ハイ、オサンポ。ソレッツ、タカイタカーイだよ。」アドリブよろしく操られる二つの凧。

横長方形の性能抜群の角凧。特殊な麻糸の手さばきで自由自在(?)の空間アートアクション凧。シンプルな絵柄の魅力。秘められた裏技で作られる煤竹で構成された骨組み。独特の音を出すうなり付きの音楽凧(?)。300年の歴史ある和凧。

揚げてよし、遊びがあってよし、戦わせてよし、UFO顔負けの緩急自在に青空をわがもの顔に舞い踊る凧。世界あまた数ある凧の中で、この凧くらいパフォーマンスをもった凧は、この凧しかないように思う。世界中の大人・子どもの心を一瞬で魅了する凧、一度、あなたもごらんあれ。

最高の魅力は、田原凧のケンカ凧合戦である。男のロマンを秘めた戦いである。凧の遊び心を存分に堪能させてくれる。あの気合い、雄たけび、ウナリの風音、からませ切りの秘技。一つひとつのアクションが見物客の心を高揚させる。

日本の伝統凧の頂点に立つといっても過言でない魅力ある凧。それが「田原凧」である。

(' 0 5 . 1 0 . 8 記)

新潟鳥凧の会：荒井勝美会長と久し振りに秋田県由利本庄市で開催された日本の凧の会秋季大会でお会いしました。

一昨年開催したプレ愛知万博全国凧揚げ大会で、新潟鳥凧の会の皆さんに見事な鶴の飛翔を見せていただいて以来の再会です。

それもホテルのお風呂の中でした。裸の付き合いのなかから上記の話をお聞きし、早速原稿をお願いしました。荒井会長ありがとうございました。

(鈴木裕 記)

愛知県地域づくり活動表彰 田原凧保存会受賞



平成17年11月18日、田原凧保存会は、凧を通じた地域づくり活動が認められ、愛知県知事から表彰を授与されました。

「伝統芸能の継承に寄与しているだけでなく、ジョージタウンなど外国の愛好家との積極的な交流や情報発信を活発にやっている。地域資源のひとつである「風」を活かした地域づくりに取り組んでいる田原市の活動の一翼を担うものとして、その圏域性も評価された。」が今回受賞の審査会講評要旨で

した。田原凧保存会行事予定

新春凧揚げ&餅つき大会

日時	平成18年1月 2日(月) 集合=9時 開始=10時~
場所	田原めっくんはうす
内容	干支(戌)凧100枚配布&餅つき&豚汁

豊橋：新春凧揚げ大会

日時	平成18年1月 3日(火) 10時~
場所	豊橋神野埠頭グラウンド
内容	新春友好凧揚げ&こども凧づくり教室
幹事	鈴木裕

第9回新春こうた凧揚げ大会

日時	平成18年1月 7日(土) 前夜祭=17時30分 三河ハイツ 8日(日) 大会 =10時~14時
場所	幸田町菱池地内 <i>長靴を忘れないでね!</i>
幹事	鈴木裕

新春東海凧揚げ大会(主催:日本の凧の会・東海)

日時	平成18年1月15日(日) 10時~
場所	東海市大田小学校:体育館&グラウンド
幹事	佐々木

阿久比植大ごんぎつね凧揚げ大会

日時	平成18年1月22日(日) 11時~
場所	知多郡阿久比町:植大地区
内容	出世凧揚げ&オークション&自由凧揚げ大会
幹事	鈴木裕

138タワーパーク凧揚げまつり

日時	平成18年2月12日(日) 9時30分~13時
場所	国営木曽三川公園
幹事	加藤要